

### 市の担当者に 市民広報特派員が 聞きました！



秋永地域経営室長(左)

### 地域づくりと市民活動の促進 地域ビジョン策定地区数

目標達成率  
(平成21年度)  
**7.1%**

計画策定時 0地区

21年度実績 1地区

21年度目標 14地区

**特派員** そもそも、なぜ地域ビジョンを策定しなければならぬのですか。

**地域経営室長** 地域ビジョンとは、地域の皆さんが5、10年先のような地域にしていきたいかというイメージを持ち、自ら計画し、それを推進することで地域の活性化につなげていただくというものです。

たとえば、目指すべき将来像が地域ビジョンとして住民の総意のもとで明確に示されることで、それに基づいて行われる事業が、地域全体の活動として認知されやすくなったり、地域の課題が明確になることで、「ゆ

めづくり地域交付金」をさらに有効に活用していただいたりすることが期待されます。

**特派員** 平成21年度の目標値の設定根拠は何ですか。

**地域経営室長** 基本的には全地域で策定してもらおうと設定しました。計画当初は14地域でしたが、現在は、名張地域から鴻之台・希央台地域が独立し、全15地域となりました。

**特派員** 平成21年度の実績で1地域が地域ビジョンを策定されたということですが、どのような内容ですか。

**地域経営室長** 策定いただいたのは美旗地域です。美旗地域から提出された地域ビジョンは、4つの基本構想と、10の行動計画で構成されています。構想は、「史跡と文化のまちづくり」「安全安心のまちづくり」「産業経済活性のまちづくり」「資源循環型のまちづくり」から成り立っています。行動計画には、それぞれの構想を実現するための事業が示されていますが、イメージの部分である基本構想が主となっています。

ただ、すべての地域が同じ構成になるとは考えていません。これから提出される地域ビジョンは基本構想のみ掲載している地域もあれば、行動計画のみ掲載している地域もあるのではないのでしょうか。

**特派員** 市は、地域から提出された地域ビジョンをどのように活用していくのですか。

**地域経営室長** 地域ビジョンは各地域の5年、10年後のイメージ



古蹟を活用した事業「ライトアップ」(美旗地域)

として、地域で共有していただくものですが、行政も地域が望むまちの姿が明確になるため、これまで以上に地域住民が必要とする事業を展開することが可能になります。

市は、総合計画の地区別計画に地域ビジョンを取り込んでいこうと考えています。

**特派員** 総合計画に各地域のすべての構想を載せるのは難しいです。

**地域経営室長** そうですね。地域から提出いただいた構想を総合計画に掲載するかどうかは地域と話し合いをして取捨選択しながら決めていかなければなりません。

**特派員** 地域ビジョンの作成は、地域に負担がかかっているのではないのでしょうか。

**地域経営室長** 地域ビジョン作成には、非常にご苦労されている

とお伺いしています。しかし、各地域の将来像、こうしていきたいという姿は、各地域住民の皆さんが、思い浮かべていると思いますので、その構想を地域ビジョンとして作成してもらい、住んでいる地域の皆さんで共有していただきたいと思えます。

各地域づくり組織には、できるだけ多くの地域住民の多様な意見が反映されるような方法で地域ビジョンの作成をお願いします。アンケートをお願いしていただいているのもその一つです。アンケートの結果をとりま

とめていただき、地域ビジョンに反映し、できればもう一度、地域住民の皆さんに見ていただき、ご意見をいただくことが理想と考えています。

しかし、時間の制約がある中で、どこまで地域住民に意見を聞くかというの難しい課題であり、苦労されている要因と考えます。

**特派員** 地域に向けて、市は職員

**地域経営室長** 現在は、地域担当職員制度というのがあり、兼務辞令を受けた職員(室長・次長級の管理職)が各地域に2人地域ビジョンができるまで策定のサポートをすることになっています。

また、過去には、地域振興推進チームが各地域づくり委員会の立ち上げにかかわって、会則の整備など、事務的な部分で力を発揮しました。

### ☆☆☆取材を終えて☆☆☆

前期の職員削減目標は「社会経済などの環境変化」と「将来の人口予測や財政計画などの修正」に基づいて総合的にはじき出された数値であるという事でしょう。このことは理解の外にあるので深入りしませんでした。しかし、後期の計画も前期の数値を基にしていますので、職員の削減数は大きくなります。計画は柔軟に進め、職員各位の提案・意見を尊重して前進することを期待しています。

また、地域ビジョンは策定段階、総合計画の策定、予算化とそれぞれのハードルが高く、各地域で困難を抱えている取組みである事が分かりました。地域担当職員の皆さんは兼務で協力されている事の大変さも伺いました。予算化は過去の大型事業を実施してきた頃の教訓を生かして実施されることを切に願います。

